

2020年03月13日

報道・関係者各位

10万人が視聴した「東京交響楽団 Live from Muza!」第2弾
無観客コンサート生配信 第2弾はモーツァルト
3月14日(土)午前11時開演 “投げ銭”機能の追加も!

ミューザ川崎シンフォニーホールと公益財団法人東京交響楽団は、このたびの新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る政府の基本方針の決定等を受けて開催中止とした「3月14日(土)モーツァルト・マチネ第40回」につきまして、無観客ライブ無料配信「東京交響楽団 Live from Muza!」第2弾を行います。

本公演では「モーツァルト×円熟期」をテーマに、モーツァルトが26歳の時、1782年に書いた3曲を演奏します。モーツァルトの室内楽、交響曲、協奏曲を一度に楽しめるコンサートです。

ライブ配信は、株式会社ダウンゴの協力を得て「ニコニコ生放送」にて収録・生放送いたします。また、今回は初めて“投げ銭”システムを使用し、生放送中に視聴者が画面を通してポイントによるギフトを行うことができます。ギフトによる収入はミューザ川崎シンフォニーホール及び東京交響楽団の活動に役立てられます。

●3月8日には約10万人が視聴

多くのイベント・コンサートが中止になる状況において、ミューザ川崎シンフォニーホールと東京交響楽団は多くの方に音楽を届けたいという思いから、ニコニコ生放送による配信を実施しております。3月8日に実施した第1弾では約10万人が視聴。実際のホールにいるような臨場感あふれる映像と音響によるコンサートを「同時に」「多くの方と」を共有し、コメントやSNSで多くのお客様と音楽を通じたコミュニケーションが生まれ、大変好評をいただきました。

ぜひ多くの皆様にご覧いただけますよう、告知へのご協力をお願い申し上げます。

※ ギフトについての詳細はニコニコヘルプをご覧ください https://qa.nicovideo.jp/faq/show/11582?site_domain=default



3月8日 無観客コンサートの様子 (C) 青柳聡

東京交響楽団 Live from Muza! 第2弾「モーツァルト・マチネ第40回」

開催日時：2020年3月14日（土）11時開演（約70分公演・途中休憩なし）

会場：ミュゼ川崎シンフォニーホール 主催：ミュゼ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）

指揮＝原田慶太楼 ピアノ＝金子三勇士

フルート：八木瑛子（首席フルート奏者） ヴァイオリン：水谷晃（コンサートマスター）

ヴィオラ：武生直子（首席ヴィオラ奏者） チェロ：伊藤文嗣（首席チェロ奏者）

管弦楽＝東京交響楽団

モーツァルト：フルート四重奏曲 第3番 ハ長調 K. 285b

モーツァルト：交響曲 第35番 ニ長調 K. 385 「ハフナー」

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第13番 ハ長調 K. 415 (387b)

番組 URL：<https://live.nicovideo.jp/watch/lv324590792>

指揮者 原田慶太楼からのメッセージ

26歳のモーツァルトにとって1782年は変化のある年でした。ウィーンに渡りピアニストとして名を馳せ、この年にコンスタンツェと巡り合い、結婚し、大人として成長した年でもありました。

バッハとヘンデルの楽譜と出会い、大変刺激を受け、後の作品に影響を及ぼすことになりました。

その1782年を代表する3曲を紹介したいと思います。どうぞお楽しみください。

■写真提供依頼・取材依頼・お問合せ：

広報営業課 前田 Tel. 044-520-0100 maeda@kawasaki-sym-hall.jp